

いわてものづくり産業人材育成・確保・定着指針（2023～2026） 概要

目的：ものづくり産業を支える優れた人材の育成・確保・定着を進めていくための県内関係機関をつなぐ共通指針

位置付け：いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプランの部門計画 取組期間：2023(令和5)年度から2026(令和8)年度まで

目指す姿 未来に向かい発展するものづくり産業を支える人材をオールいわてで育成・確保・定着

これまでの取組・成果

小中学生ステージ	高校生ステージ	大学生等ステージ	企業人ステージ
工場見学、出前授業等の機会を提供 ▼ 地域と連携した産業教育が充実	技能・技術強化の取組を実施 ▼ 企業との連携が定着、資格取得等に貢献	企業や産業の理解を深める機会を提供 ▼ 本県の企業や産業への理解が広がる	関係機関が研修等の機会を提供 ▼ 企業が必要とするスキルの習得に貢献

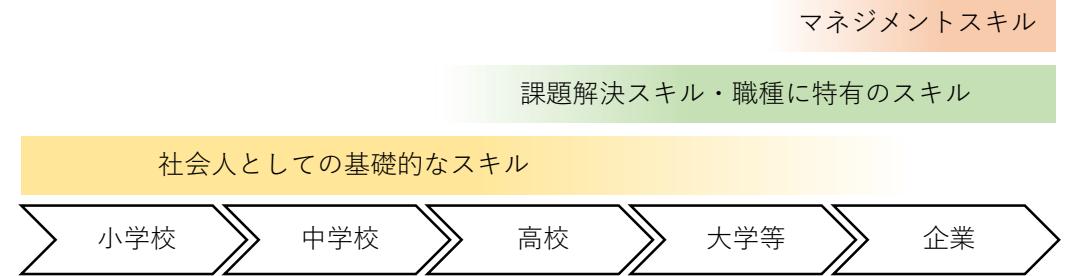
現状

企業の人材ニーズ	新規高卒就職者	工業系高校	就職の重視項目
減らしたい 1% 現状維持 25% 増やしたい 71%	県内就職率 R2.3卒 68.5% → R4.3卒 74.1%	生徒数 R元 3,414人 → R3 2,964人	・仕事内容 ・勤務条件 ・自分の成長
	就職者数 R2.3卒 3,251人 → R4.3卒 2,808人	女性比率 R3 7.2%	社会情勢の変化 ・不足する高度人材 ・企業の社会的責任 ・働き方の多様化

ものづくり産業で求められる人材像

- 責任感・意欲等の社会人としての基礎的なスキルをベースに、ものづくり産業で求められる課題解決スキル・職種に特有のスキル、マネジメントスキルが積み重なっていく

【各段階で身に付けていくスキルのイメージ】



- 社会人としての基礎的なスキルは、小学校からのキャリア教育等により培っていくもの
- 課題解決スキル・職種に特有のスキルは、工業高校や高等教育機関での専門学習、働き始めてからの学びにより獲得していくもの
- マネジメントスキルは、絶えず変化する企業を取り巻く状況に対応していくため、常にスキルを高めるよう努めていくもの

課題

1 次代のものづくり産業を支える人材の育成・確保

- ものづくりに興味を持ちものづくり産業への就職を志す人材の育成・確保
- 理工系への進学とものづくりへの就職につながる進路選択の支援

2 高度人材の育成と多様な働き方を実現できる環境づくり

- 生産性向上や付加価値向上を担う高度な技能や技術を持つ人材の育成
- 誰もが成長と自己実現を得られる環境づくりの推進
- 自ら起業し活躍できる環境づくりの推進

3 県内外からの人材の確保

- 生徒・学生の県内就職やU・Iターンの促進

取組方針

1 各段階の取組を連続させたものづくり産業人材の育成

- 地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成の推進
- ものづくり産業につながる進路選択を支援する連続性を持ったキャリア教育の推進

2 誰もが成長し、能力を発揮できる環境の整備

- 高等教育機関等との連携による高度技能者・技術者の育成
- 働き方改革の推進等による若者や女性などに魅力ある職場づくりの推進
- 起業家教育やネットワークづくり等による起業しやすい環境の整備

3 新卒者などの県内就職やU・Iターンの促進

- 県内の生徒・学生や保護者等の意識醸成による県内企業への就職促進
- 県外の高等教育機関等に進学した学生へのアプローチ強化